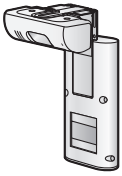
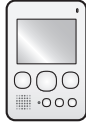


ワイヤレスドアカメラ
(本書の表記: ドアカメラ)



VL-DC855

モニター親機



VL-MDM310
(コード付き)

取扱説明書

ワイヤレスドアモニター

ブイエル エスディーエム

品番

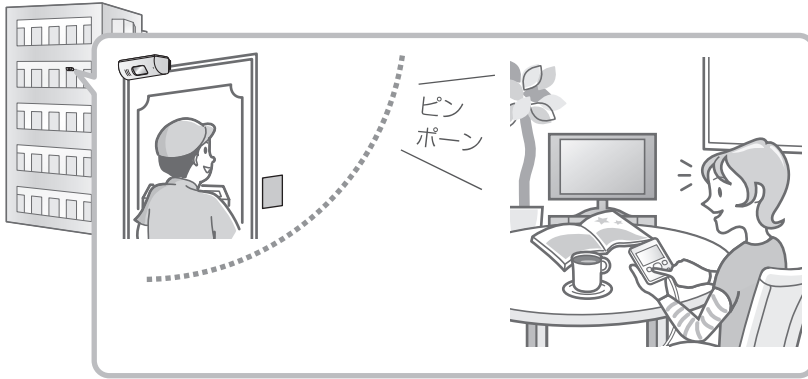
VL-SDM310

(コード付き)

確認と
準備

使い
かた

必要な
とき



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品は、お手持ちのスマートフォンと連携することで、より便利にお使いいただけます。

スマートフォンとの連携に必要な「専用アプリケーション」について

下記のサポートサイトで詳細情報の確認やダウンロードができます。

<http://panasonic.jp/com/support/doormoni/smp/>



- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き
(裏表紙)

- 本機は、盗難・侵入を阻止するものではありません。
発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。



PNQX6947ZA

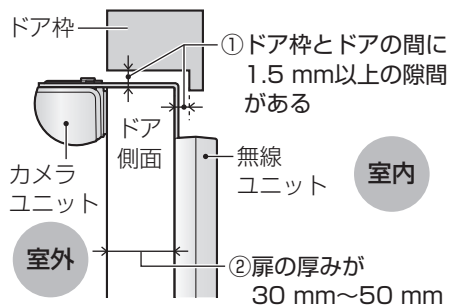
PNQX6947ZA NO914MTO

Printed in Vietnam

はじめに

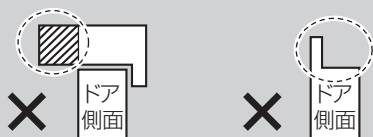
取り付け可能なドアは…

次の要件を満たす「外開きのドア」に限ります。



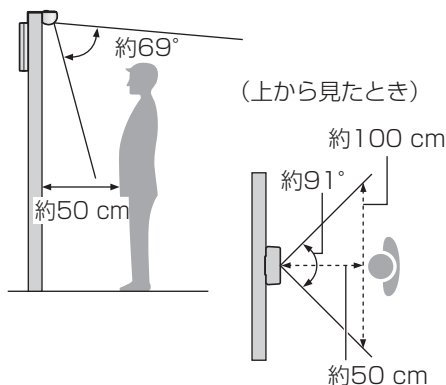
次のドアへの取り付けはできません

- ・内開きのドア
- ・引き戸
- ・ドア枠の出っ張り
が5 mm以上ある
ドア
- ・上面にガードブ
レートなどの突起
があるドア



ドアカメラに映る範囲について

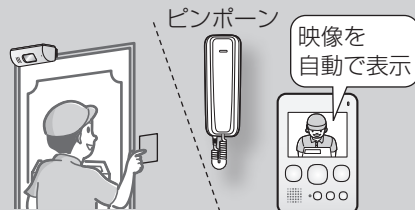
ドアの高さが2 m、標準表示（ズームなし）
の場合の撮影範囲は下記のとおりです。



特 長

来客映像を自動で表示

ご自宅のチャイム音（ピンポン）を録
音しておくと、チャイム音が鳴ったと
きに、自動で来客映像を表示できます。



▶チャイムリンク機能 (P.14、18)

映像を自動/手動で録画

モニター操作や上記のチャイムリンク
機能で表示された映像は自動で録画さ
れます。必要に応じて手動録画もでき
ます。

▶録画機能 (P.20)

スマートフォンと連携

専用アプリケーションを利用すると、
お手持ちのスマートフォンで、来客応
答やモニターなどができます。

▶スマートフォン連携 (P.21)

来客時に画像をメール送信

携帯電話など、事前に登録した通知先
に来客時の画像（静止画）がメール送信
されるので、外出先などで確認できま
す。

▶メールでお知らせ機能 (P.23)

もくじ

確認と準備

安全上のご注意	4
使用上のお願い	6
各部のなまえとはたらき （ドアカメラ）	10
各部のなまえとはたらき （モニター親機）	10
日時（時計）を設定する	12
ドアカメラを取り付ける	12
チャイムリンク（音検知）機能を 設定する	14
Wi-Fi接続設定をする	16

使いかた

来客の呼び出しに応答する	18
ドアの外の様子を見る（モニター） ..	18
表示や音量を変える	19
映像をズーム、パン・チルトする	19
映像の明るさを変える	19
受話音量を変える	19
送話音量を変える	19
録画する（自動録画/手動録画）	20
録画を再生する	20
画像を保護する	21
画像を消去する	21
スマートフォンと連携して使う	21
専用アプリケーションをダウンロードする ..	22
スマートフォンをモニター親機に登録する ..	22
携帯電話などに来客時の画像をメール で送る（メールでお知らせ機能）	23
メールサーバーの登録をする	24
通知先メールアドレスの 登録をする	25
メール通知する/しないを設定する （メール通知の設定）	25
設定一覧と設定の変えかた	26

必要なとき

文字入力のみ	30
電池残量やアンテナレベル （電波の状態）を確認する	31
中継アンテナを使用する	32
電池を交換する	33
使わなくなった機器を減設する	33
仕様	34
別売品	35
困ったとき	35
こんな表示が出たら	39
商標・著作権について	42
保証とアフターサービス	42
さくいん	45

付属品・添付品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■ 付属品

〈ドアカメラ用〉

- ☐ 単3形アルカリ乾電池
- ☐ 補助用両面テープ
- ☐ スペーサー
- ☐ 六角レンチ

〈モニター親機用〉

- ☐ 置き台

■ 添付品

- ☒ 取扱説明書（本書、保証書付き）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

電池の取り扱いについて(乾電池・市販の充電式ニッケル水素電池)



危険

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 分解・改造しない
- 火の中に捨てたり加熱しない
- (+)(-)端子を金属などに接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない



- (+)(-)は正しく入れる
- 市販のニッケル水素電池は専用充電器で充電する



危険

事故を防ぐために



禁止

- 液もれしたときは、“液”に触れたり目に入れない
(目に入ると失明など障害の原因)
→ 目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



警告

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 状態の異なる電池を混用しない
・新旧の電池、種類(充電式と乾電池、アルカリとマンガンなど)の異なる電池、銘柄・電池容量・充電状態(充電式の場合)の異なる電池など
- 乾電池を充電しない



- 使えなくなった乾電池はすぐに取り出す
- 長期間使わないときは、機器から乾電池を取り出す



注意

発熱・発火・破裂・液もれを防ぐために



禁止

- 指定の電池以外は使用しない
- 水などの液体でぬらさない
- くぎを刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- 火やストーブのそば、直射日光の強いところなど高温の場所で使用・放置したり、充電式の電池を充電しない



警告

火災・感電などを防ぐために



禁止

- 分解・修理・改造しない
→ 修理は販売店へご相談ください。
- めれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- 雷が鳴ったら、モニター親機、電源部、電源プラグに触れない
- 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない
- 電源部・電源プラグを破損するようなことはしない
 - ・ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える（無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）
（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因）→ 修理は販売店にご相談ください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない
（たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因）
- 機器内部に金属物を入れない
→ 金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。
- 機器（電源部、電源プラグを含む）に水をかけたり、ぬらしたりしない
→ めれた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。
- 本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない



警告

火災・感電などを防ぐために



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
（差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因）
→ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる
（プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因）
→ 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く
（そのまま使用すると、火災・感電の原因）
→ 使用を中止し、販売店へご相談ください。
- 電源プラグを抜くときは電源部（金属でない部分）を持って抜く
（コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因）

事故などを防ぐために



禁止

- 医療機器の近くでの設置や使用をしない*
 - ・ 手術室、集中治療室、CCU（冠動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで設置或使用をしない*
（※ 本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因）



- 心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す
（本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり）

安全上のご注意(つづき)

必ずお守りください

本製品全般の取り扱いについて(つづき)



注意

事故・けがなどを防ぐために



禁止

- 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない
(落下による破損やけがの原因)



- 玄関ドアからドアカメラが落下しないようしっかり取り付け※
- ドアカメラの電池交換時は、電池ケースが落下しないよう取り外しや取り付けを行う※
(※落下による破損やけがの原因)

使用上のお願い

設置について

故障・誤動作・動作不良などを防ぐために

■ ドアカメラをこんなところに設置しない

- ドアを開けたとき、内側に風雨が当たる場所(無線ユニットは防水非対応)
- 逆光になる場所(顔が暗く視認性が低下)
- 硫化水素が発生する場所

■ モニター親機をこんなところに設置しない

- 火気・熱器具・冷暖房機の近く
- 直射日光の当たる場所
- 温度変化が激しく結露が発生する場所

電源プラグを差し込む位置は…

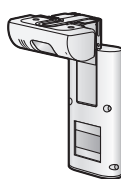
電源プラグは、本機の設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

- 本機を長期間使用しない場合など、電源プラグを抜くときは、ドアカメラの電源をOFFにすることをお勧めします。
(ドアカメラの電池の消耗を防ぐため)

各機器間の通信や電波について

ドアカメラ

モニター親機



DECT準拠方式
(1.9 GHz帯)



Wi-Fi®(2.4 GHz帯)

〈スマートフォン連携時〉



スマート
フォン



Wi-Fi



無線(Wi-Fi)
ルーター

Wi-Fi

各機器間は、電波によって通信を行います。

- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。
- スマートフォン連携やメールでお知らせ機能を使うときは、無線ルーター(市販品)が必要です。
- 各機器間の通信方式など、電波について詳しくは、P.8をお読みください。

使用可能距離(範囲)について

- ドアカメラとモニター親機は70 m以内でご利用ください。(間に障害物がない場合)
 - ・ただし、距離が近すぎると「ピー」という音(ハウリング)が生じることがあります。

- 無線LAN (Wi-Fi) をご使用时、モニター親機やスマートフォンは、無線ルーターの電波が届く範囲内でご使用ください。
 - ・ P.16「Wi-Fi接続設定」をすると、モニター親機と無線ルーター間の電波状態をモニター親機で確認できます。(P.31)
- スマートフォンと無線ルーター間の電波状態の確認方法は、スマートフォンの取扱説明書などをお読みください。
- ・ 複数の無線アクセスポイントが近くに存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 各機器の距離が離れていたり、各機器間に次のように電波を通しにくい(または電波を反射する)障害物があるとき

- ・ 複層ガラスの窓や金属製の雨戸
 - ・ アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - ・ コンクリートやトタン製の壁
 - ・ 壁を何枚もへだてたところ
 - 電波が弱くなり、ブツブツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示が圏外となって使えないことがあります。
 - モニター親機とドアカメラの通信で上記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナ*の設置をお勧めします。(P.32、35)
- *中継アンテナは無線LANに対応していません。

電波干渉によるノイズなどを防ぐために

■ モニター親機を次の機器から離す

- AV機器(テレビ・ラジオ・ステレオ・パソコンなど)など
- CSデジタル放送受信機器(チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど)
 - ・ CSデジタル放送の画像が乱れる原因になります。(受信機器から離しても、特定チャンネルの画像が乱れるときはP.39)

無線LAN (Wi-Fi) を使うときは…

さらに、次の機器からもモニター親機を離してください。

- 電子レンジ
- その他、次のような機器(設置環境によって影響が出る場合あり)
 - ・ ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - ・ 万引き防止システム(書店やCDショップなど)
 - ・ アマチュア無線局
 - ・ 工場や倉庫など物流管理システム
 - ・ 鉄道車両や緊急車両管理システム
 - ・ マイクロ波治療器
 - ・ その他、Bluetooth®対応機器やVICS(道路交通情報通信システム) など

セキュリティに関するお願い

無線LANでは、電波を利用してパソコンなどと情報のやり取りを行います。ご利用時の電波は、通信可能範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、次の注意が必要です。

- 本機をインターネットに接続してご利用になる場合は、本機および接続する無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行ってください。
 - ・ 無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあります。ご理解のうえ、ご使用ください。
- セキュリティに関する設定を行わないと、悪意のある第三者によって、次のような被害を受ける場合があります。
 - ・ 通信内容(画像、メール情報、ID、パスワードなど)の傍受
 - ・ ネットワークへの不正な侵入による情報漏洩
 - ・ なりすましによる通信内容の改ざん
- セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

使用上のお願い(つづき)

各機器間の通信方式(電波)について

〈ドアカメラとモニター親機間の電波について〉

- 本機は、1,895.616～1,902.528 MHzの帯域を使用する無線設備です。

本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す次のマークが表示されています。(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

- J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。

J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(P.43)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(P.43)へお問い合わせください。

〈モニター親機(無線LAN)の電波について〉

- モニター親機は、2.4～2.4835 GHzの全帯域を使用する無線設備です。

移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「DS-SS方式/OFDM方式」、与干渉距離は40 mです。

(右記はそれを示すマークです)

2.4 DS / OF4

- モニター親機の使用周波数に関わるご注意
モニター親機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、モニター親機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(P.43)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(P.43)へお問い合わせください。

その他

個人情報について

モニター親機には、来客映像などの録画データ(個人情報)が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- モニター親機の録画データは取り出すことができません。修理依頼の前に、必要に応じて録画内容を確認してください。
- データの確認後、P.29「初期化」の「出荷時に戻す」操作をしてください。
 - ・ 初期化すると、モニター親機に記録された情報が消去されます。
 - ・ 故障の状態により、モニター親機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

P.29「初期化」の「出荷時に戻す」操作をしてください。初期化すると、モニター親機に記録された情報が消去されます。

プライバシー・肖像権について

ドアカメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。

- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

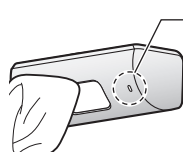
〈電源プラグを拭くとき〉

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

〈モニター親機の画面を拭くとき〉

キズ防止のため、眼鏡拭きをご使用ください。

〈ドアカメラを拭くとき〉



マイクの水滴は、綿棒などで拭き取ってください。

- 雨などの水滴が付いていると、音がこもって聞こえることがあります。



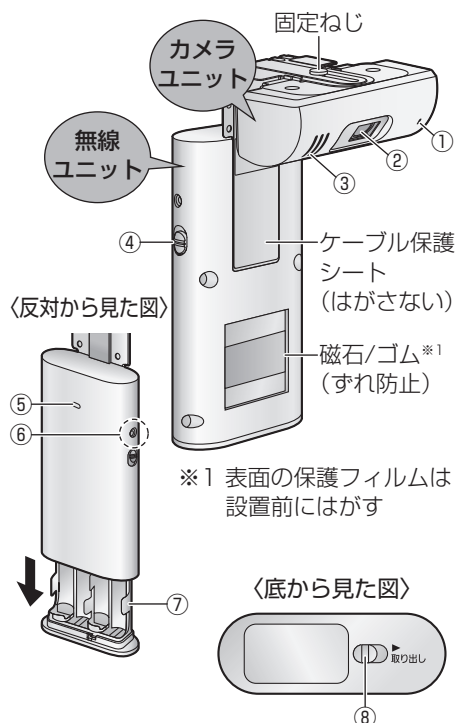
お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

その他

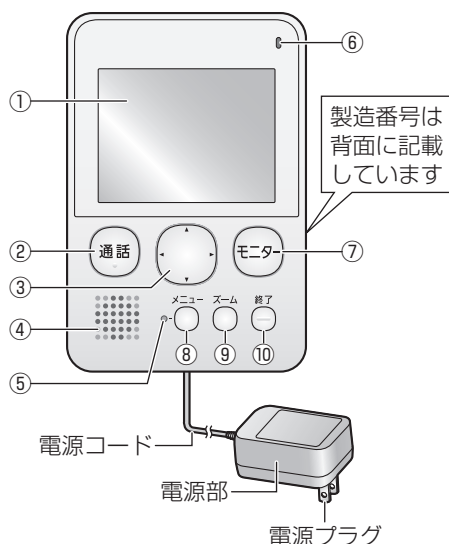
- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 取扱説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアカメラをドアから取り外してください。

各部のなまえとはたらき (ドアカメラ)



- ①マイク
- ②カメラレンズ
- ③スピーカー
- ④電源用スライドスイッチ (ON/OFF)
- ⑤登録ランプ (赤)
ドアカメラの電源が入るとランプの変化
(点滅→消灯)でお知らせします。
- ⑥登録ボタン (通常は使わない)
修理交換時など、再登録が必要なときに
使います。(P.40)
- ⑦電池ケース
- ⑧スライドレバー
電池ケースの取り出し用です。(P.12)

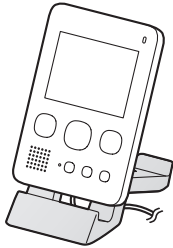
各部のなまえとはたらき (モニター親機)



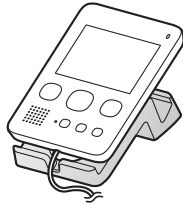
- ①液晶ディスプレイ
- ②通話ボタン
- ③マルチファンクションキー
項目の選択や、画面下部に表示される機能
の操作に使います。
- ④スピーカー
- ⑤新着ランプ (赤)
新しく録画した未確認画像があるときに
点滅してお知らせします。
(ランプを消すには、メニューボタンを押
してください)
- ⑥マイク
- ⑦モニターボタン
ドアの外の様子を確認したり、画面下部に
表示される機能の操作に使います。
- ⑧メニューボタン
各種設定の画面を表示します。(P.26)
- ⑨ズームボタン
- ⑩終了ボタン

置き台について

向きを変えることで、2通りの置き方ができます。



〈たて置き〉

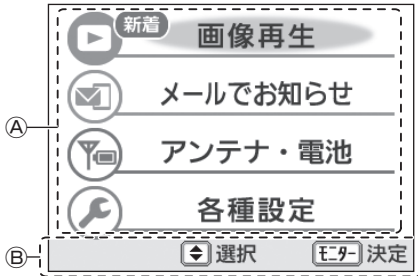


〈ねかせ置き〉

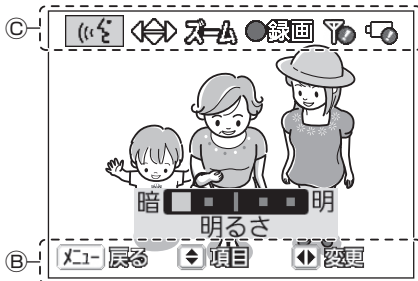
画面について

■ トップメニュー

P.12「日時設定」とP.14「チャイムリンク設定」後、メニューボタンを押すと表示されます。



■ 映像表示中の例



④ 操作メニュー

• 画像再生

録画した画像を再生できます。(P.20)

新着 は、新しく録画した未確認画像があるときのみ表示されます。

• メールでお知らせ

P.23「メールでお知らせ機能」で登録した通知先メールアドレスに、来客時の画像をメールで通知するかどうかを設定できます。(設定のしかたはP.25)

• アンテナ・電池

ドアカメラや無線ルーターとの電波の状態や、ドアカメラの電池残量を確認できます。(P.31)

• 各種設定

各種設定を変更できます。(P.26)

⑤ 操作ガイド

ボタンのはたらきを表示します。

⑥ 状態表示アイコン

現在の状態をアイコンで表します。

アイコン	意味
	通話中
	プレストーク通話中 (P.18)
	モニター中 (P.18)
	ズーム表示中
	切替中 ズーム、パン・チルト操作で映像を切り替え中
	録画中
	ドアカメラとの間の電波が弱い (電波の強い場所へモニター親機を移動してください)
	ドアカメラの電池残量が少ない (電池を交換してください)

日時(時計)を設定する

お買い上げ時は日時未設定です。
下記の手順で必ず設定してください。

- 1 **メニュー** を押し、日時設定を促すお知らせ画面が表示されたら、**モニター** (**了解**) を押す
● 日時設定の画面が表示されます。

2 下記の操作で日時を合わせる

	年・月・日・時・分の項目を選ぶ
	数字を選ぶ (押し続けても数字が切り替わる)

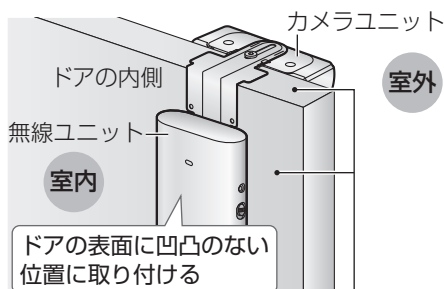
- 3 日時を合わせたら、**モニター** (**決定**) を押す

お知らせ

- 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
- 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。
- 日時の変更は、各種設定の「日時設定」で行います。(P.27)

ドアカメラを取り付ける

〈設置のイメージ〉



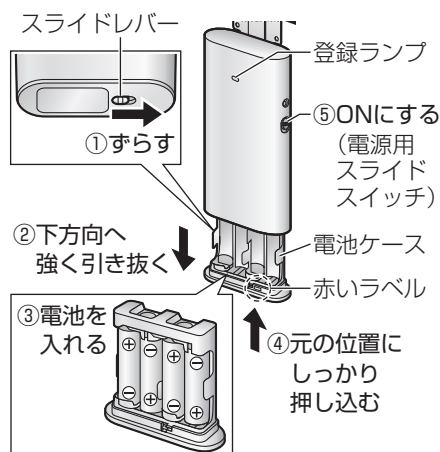
ドアの天面や表面の汚れや水滴は、事前に拭き取っておく

1 取り付け前の確認

取り付け可能なドアや、ドアカメラに映る範囲を確認してください。(P.2)

2 無線ユニットに電池を入れる

電池ケース(下図)はドア開閉時の衝撃による落下を防ぐため、スライドレバーの操作だけでは取り外しが出来ない構造になっています。以下の手順に従ってください。



1 スライドレバーをずらして、電池ケースを引き出す

- 電池ケースが約5 mm出たところ(赤いラベルが見えるところ)で、落下防止のため一度止まります。

2 電池ケースをまっすぐ下方向へ強く引き抜く

- 落とさないよう、ご注意ください。

3 4本の単3形電池を正しく入れる

- 付属のアルカリ乾電池または市販の充電式ニッケル水素電池をご使用ください。
- 新旧・異種の電池を混用したり、 $\oplus$ $\ominus$ の向きを間違えないでください。
- 乾電池は使用推奨期限(乾電池に記載)を確認してください。

4 電池ケースを無線ユニットに入れる

- 赤いラベルが隠れるまで、しっかり押し込んでください。

5 電源用スライドスイッチをONにする

- 登録ランプが変化(点滅→消灯)して電源が入ったことをお知らせします。

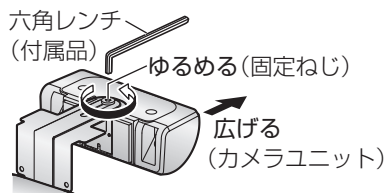
3 ドアカメラを取り付ける

ドア天面/表面の汚れや水滴を拭き取り、モニター親機の電源を入れてから始めてください。

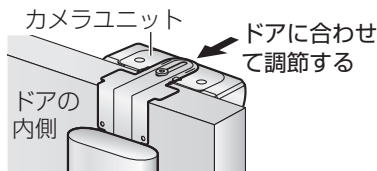
取り付けの際は、ドアに指を挟まないようにご注意ください。

1 次の手順でドアカメラを仮設置する

- ① 固定ねじを外れない程度にゆるめ、カメラユニットを矢印方向に広げる



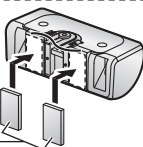
- ② 図のようにドアに掛け、ドアの厚みに合わせてカメラユニットを調節し、固定ねじを軽く締めて仮固定する



- ③ ドアを開け閉めして、固定ねじなどカメラユニットの上部がドア枠に当たらないことを確認する

ドア枠に当たるときは…

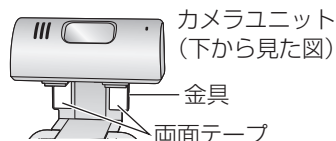
カメラユニットの内側2か所に、スペーサー(付属品)を貼ってください。



2 モニター親機を使って映像を確認し、ドアカメラの位置を調節・確定する

3 取り付け位置が決まったら、次の手順でドアカメラを取り付ける

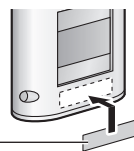
- ① 仮固定した固定ねじをゆるめずにドアカメラをゆっくりドアから外し、図の位置の両面テープ(はくり紙)をはがす



取り付けるドアが木製、またはドア上部が右の形状のときは…



確実にドアに固定するため、無線ユニットの裏側に、補助用両面テープ(付属品)を貼ってください。



- ② 取り付け位置にドアカメラを掛ける

- ③ 両面テープで貼り付けた部分を強く押さえてドアに固定し、ドアを閉めて無線ユニットが容易に動かないことを確認する

● 容易に動くとき→P.14「お願い」

- ④ ドアを閉めた状態で、カメラユニットをドアに押し付けながら、固定ねじをしっかり締める

長手方向を持ち、しっかり締める



- 固定ねじは、定期的にはゆるみのないことを確認してください。

(次ページにつづく)

ドアカメラを取り付ける (つづき)

お願い

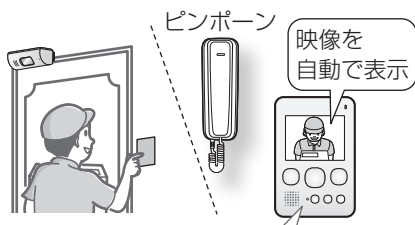
- ドア天面の両面テープの貼り付きが悪く容易に動いてしまうときは、次の処置をしてください。
 1. ドアカメラをドアから外し、無線ユニットに補助用両面テープ(付属品)を貼る(P.13「手順3の①」を参照)
 2. 両面テープのはくり紙をはがし、再度ドア(元の位置)に掛ける
 3. 両面テープで貼り付けた部分を強く押さえてドアにしっかり固定する
- ドアカメラは、落下防止のため粘着力の強い両面テープでドアに固定されます。取り外すときは丁寧にはがしてください。無理にはがそうとすると、ドアの表面を傷める場合があります。

チャイムリンク(音検知)機能を設定する

チャイムリンクとは、チャイム音を検知して自動で来客映像を表示する機能です。この機能を利用するには、ご自宅のチャイム音をモニター親機に録音する必要があります。

チャイム音を録音しておく…

来客時のチャイム音を検知して、映像を自動で表示します。



表示された映像はP.20「自動録画」機能によって録画もされるので、留守中の来客もあとから確認できます。

1 録音前の確認と準備

検知できる音、できない音について

本機では、検知できる音を次の一般的なチャイム音に限定することで、誤検知が少なくなるよう配慮しています。

■ 検知できる音

「ピンポーン」または「ピンポンピンポン」

ただし、電池で動作するチャイムでは、電池電圧が低下すると音色が変化して正しく検知できなくなります。その際は、新しい電池に交換してください。

■ 検知できない音(上記以外の音)

(例) ブーと鳴るブザー音、ブルブルっと鳴る電話のベルのようなチャイム音、その他のメロディー音など

(音によっては録音(登録)できる場合もありますが、正しく検知できません。)

インターホンやチャイムをご使用のとき

音の設定を変更できる場合があります。上記の「検知できる音」に設定を変更してお使いください。(設定方法は、ご使用の機器の説明書を参照)

録音前の準備

正しく録音するため、必ず行ってください。

①モニター親機の設置場所を決める

チャイム音が鳴る機器と同じ部屋*で、音を発するテレビなどからはできるだけ離して設置してください。

*チャイム音が鳴る機器との

距離の目安: 1~4 m

ただし、チャイムの音量やモニター親機の設置場所周辺の騒音、部屋(壁などの仕切り)のレイアウトによって変わります。

②日時を設定する(P.12)

③ドアカメラを取り付ける(P.12)

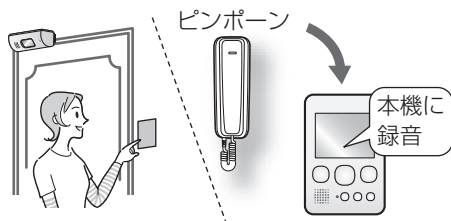
取り付け後は、モニター親機でドアカメラとの電波状態を確認し(P.31)、できるだけ電波が強い場所にモニター親機を置いてください。

④モニター親機の周囲を静かにする

テレビやラジオなど音が出るものは、消しておいてください。

2 チャイム音を録音する

モニター親機で録音設定の操作を行い、ドアカメラの音声案内に従って検知のための録音を行います。



室内でのモニター親機の操作

1 を押す

- チャイムリンク機能の紹介画面に続けて次の画面が表示されます。

チャイムリンク機能を
設定しますか？

今すぐ設定する
後で設定する
今後この表示をさせない

2 で[今すぐ設定する]を選び、

 **(決定)** を押す

- 録音前の準備事項が表示されます。表示に従って必ず実施ください。

3 準備完了後、 **(次へ)** を押す

4 録音開始の案内画面が出たら

 **(録音開始)** を押し、本機を置いたまま玄関に移動する

- 約20秒後に、ドアカメラ側で録音開始の音声案内が始まります。(音声案内は繰り返し流れるので、慌てずに移動ください)

玄関(ドアの外)での操作

5 ドアカメラから「ピーという音のあとに…」という音声の流れたら、案内に従ってチャイムを1回鳴らす

- 室内のモニター親機に、チャイム音が録音されます。

6 「もう一度、ピーという音のあとに…」という音声の流れたら、案内に従って、チャイムを1回鳴らす

- 1回目と同様に録音されます。
- 再度同じメッセージが流れたとき(下記「お知らせ」)

7 「チャイム音を登録しました」という音声の流れたら、室内に戻って

モニター親機の  を押す

- 登録と同時に「チャイムリンク設定」が自動的に「する」に変更されます。
- 登録失敗の場合は「チャイム録音ができませんでした…」という音声流れます。室内に戻って画面を終了させ、最初からやり直してください。

■登録が終わったら

玄関のチャイムを鳴らし、室内のモニター親機に映像が表示(または録画)されていることを確認してください。

→ 映像が表示(または録画)されていないときは(P.37)

お知らせ

- 手順6で録音に失敗すると、同じメッセージが繰り返し流れます。案内に従って、録音操作を繰り返してください。

Wi-Fi接続設定をする

スマートフォンとの連携や、メールでお知らせ機能を使うために必要です。ご使用の無線ルーターに合わせて、モニター親機で「簡単接続 (WPS)」または「手動接続 (サーチして選択)」の設定をしてください。

簡単接続 (WPS) の設定

無線ルーターにWPSボタンがあるときの設定方法です。

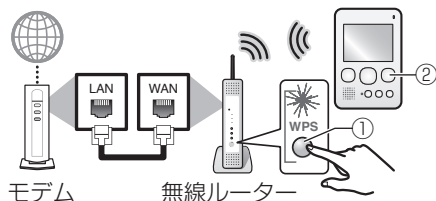
1 を押し、 で [各種設定] を選び、 (決定) を押す

2 で [ネットワークの設定] を選び、 (決定) を押す

3 で [Wi-Fi接続設定] を選び、 (決定) を押す

4 で [簡単接続 WPS] を選び、 (決定) を押す

5 下記の操作で接続を完了させる



①無線ルーター側で、約2分以内にWPSボタンをWPSランプが点滅するまで押す※

②モニター親機の (次へ) を押す

●接続が終わったら、 を押す

※機器によって操作が異なることがあります。無線ルーターの説明書を参照、または設置業者にお問い合わせください。

手動接続 (サーチして選択) の設定

無線ルーターにWPSボタンがないときの設定方法です。途中でセキュリティキーの入力が必要になる場合があります。

1 左記の手順1～3の操作をする

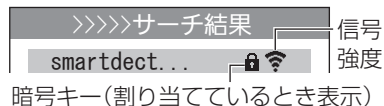
2 で [手動接続] を選び、

(決定) を押す

3 で [サーチして選択] を選び、

(決定) を押す

●接続可能な無線ルーターのアクセスポイントを検出し、一覧表示します。



●「アクセスポイントが見つかりませんでした」と表示されたときは無線ルーターの近くで操作をやり直してください。

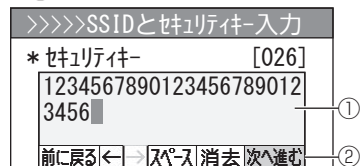
4 で接続先を選んで (決定) を押し、表示内容を確認して再度、 (決定) を押す

■下の画面が出たとき

①セキュリティキーを入力する

②画面内の [次へ進む] を選んで

(決定) を押す



●文字入力のしかたは (P.30)

5 「接続しました」と表示されたら、

を押す

■ 接続に失敗したとき

画面の表示および「こんな表示が出たら」のP.41を参照のうえ、適切な対処をしてください。

■ 手動接続について

- ご使用の無線ルーターの設定情報などについては、無線ルーターの説明書を参照、または設置業者にお問い合わせください。
- ご使用の無線ルーターのネットワーク情報 (SSID、セキュリティキー、暗号化方式) を直接入力・設定して接続する方法もあります。(下記参照)
ネットワーク情報をご確認のうえ、設定してください。

■ ネットワーク情報を入力して手動接続する

- ①P.16「手動接続 (サーチして選択) の設定」の手順1～2の操作をする
- ②[SSIDとセキュリティキー入力]を選んで決定する
- ③SSIDを入力して[次へ進む]を選んで決定する
- ④暗号方式を選んで決定する
- ⑤手順④で「なし」以外を選んだときは、セキュリティキーを入力して[次へ進む]を選んで決定する
 - 入力できる文字 (英字・数字・記号)
 - 文字入力のしかたは (P.30)
 - 「接続しました」と表示されたら完了です。

来客の呼び出しに 応答する

事前に録音したチャイム音と同じ音が鳴ると、玄関の映像が自動で表示されます。
(チャイムリンク)

1 映像が表示されたら、

 を押し、相手と話す

2 終わったら、 を押す

映像が自動で表示されないとき

チャイムリンクを利用していない場合などは下記の操作で応答してください。

1 玄関から呼び出しがあったら、

 を押す

- 玄関の映像が表示され、周囲の音が聞こえます。(室内の声は外に聞こえません)

2 を押し、相手と話す

3 終わったら、 を押す

お知らせ

- チャイムリンクによる映像表示(着信)は約20秒、通話は最大約60秒です。
- 通話時は、モニター親機のマイクに向かって約50 cm以内で相手と交互に話してください。同時に話すと声が途切れます。
- 利用環境などによって、チャイムリンクが正しくはたらかない場合があります。
 - ・玄関のチャイム音が鳴ったのに、映像が表示されない
 - ・玄関のチャイム音が鳴っていないのに、映像が表示される(対処方法などの詳細はP.36、37)

周囲が騒がしく話にくいとき (プレストーク通話)

送話と受話を手動で切り替える通話方式です。自分や相手の周囲が騒がしいときでも声が伝わりやすくなります。

1 通話中、 を約2秒間押す

-  が表示され、プレストーク通話に切り替わります。

2 相手と話す

■話すとき(送話)

 を押したまま話す(押している間、相手の声は聞こえません)

■聞くとき(受話)

 から指を離す
(こちらの声は相手に聞こえません)

ドアの外の様子を見る (モニター)

ドアの外の様子を映像と音で確認できます。

- モニター中、室内の声は外には聞こえません。

1 を押し、表示された映像と 音声を確認する

■外の相手と話すには  を押す

2 終わったら、 を押す

お知らせ

- モニター中、何も操作をしないと約90秒で映像表示を終了します。
(ズーム表示など、何か有効な操作をすると最大約3分まで延長されます)

表示や音量を変える

映像をズーム、パン・チルトする

「初期表示設定」をズーム表示に変える

来客時やモニター時に表示する最初の映像をズーム表示に変更できます。

(設定のしかたはP.27)

標準

ズーム



(お買い上げ時の設定)

(標準の約1.6倍)

映像表示中に切り替える

映像を表示中に、一時的にズーム表示に切り替えたり、ズーム位置の切り替え(パン・チルト)ができます。

1 映像表示中に を押す

- 押すごとに、ズーム表示/標準表示が切り替わります。
- ズーム表示中は  が表示されます。( で表示した方向に画面を動かせます)

2 ズーム位置を切り替えるには、ズーム表示中に を押す

- 押すごとにズーム位置が切り替わります。

お知らせ

- 映像表示中にズーム表示に切り替えても、画面を終了すると元に戻ります。
- ズーム位置は画面を終了しても記憶されます。
- ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。

映像の明るさを変える

下記の場面で操作ができます。

・着信(チャイムリンク)・通話・モニター中

- 1 上記場面のいずれかで  を押す
■通話中やモニター中の場合
続けて  で明るさの項目を選ぶ

- 2  で明るさを調整する

受話音量を変える

下記の場面で操作ができます。

・通話・モニター中

- 1 上記場面のいずれかで  を押し、
 で受話音量の項目を選ぶ

- 2  で音量を調整する

送話音量を変える

送話音は、通話中に玄関先(ドアカメラ側)で聞こえる音声(室内の音声)です。

下記の場面で音量を変更できます。

・通話・モニター中

- 1 上記場面のいずれかで  を押し、
 で送話音量の項目を選ぶ

- 2  で音量を調整する

録画する (自動録画/手動録画)

来客時やモニター時の映像を、自動または手動で最大50件まで録画できます。

- 1件につき、静止画2枚(約1秒おきの2連続画像)を録画します。
- 録音はされません。

自動録画

P.27「自動録画」の設定により、次の場面の映像が自動で録画されます。

- ・チャ임リンクにより、来客映像が自動で表示されたとき
- ・モニター親機や連携したスマートフォンでモニターボタンを押して、映像を表示したとき

手動録画

モニター中や通話中の映像は、必要に応じて手動で録画することができます。

1 モニター中または通話中に

メニュー
○ を押し、 (録画) を押す

お知らせ

- 録画中は、画面に「●録画」と表示されます。
- 自動録画のうち、留守などで呼び出しに回答しなかったときの録画画像は未確認画像として記録され、次のように通知されます。(その他の録画は確認済み扱いになります)
 - ・新しい未確認画像があるとき
新着ランプが点滅し、トップメニューに「新着」を表示(右上の画面参照)
- 録画がいっぱいになったときは、新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。(録画の自動更新) このため、手動で画像を消去しなくても、録画できます。ただし、未確認の画像でも消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。(P.21)

録画を再生する

1 を押す



新しく録画した未確認画像があるときのみ表示

2 で[画像再生]を選び、

 (決定) を押す

- 手順1で「新着」の表示が
 - ・あるとき:未確認の最新画像を表示
 - ・ないとき:最新画像を表示

未確認画像のとき 録画日時



画像の再生状況を表す
(例:2コマ中の1コマ目を再生)

■ 再生中のボタンのはたらき

-  : 画像が2件以上のときに
前/次の件(画像)に切り替える
● 押し続けると、
早戻し/早送りになります。
-  : 1件の画像の中で、前/次のコマに切り替える
-  : 画像に重なる録画日時や操作ガイドを消す(再度押すと表示)

3 終わったら、 を押す

画像を保護する

消したくない画像を最大20件まで保護設定できます。

1 画像再生中に

メニュー  を押し、 で[保護設定/解除]

を選んで  (決定) を押す

- 画面の左上に  (保護マーク) が表示されます。

保護解除するとき

1 保護画像を再生中に

メニュー  を押し、 で[保護設定/解除]

を選んで  (決定) を押す

- 保護マークが消えます。

画像を消去する

消したい画像を個別に消去できます。

- 画像を全消去するには (P.27)

1 画像再生中に

メニュー  を押し、 で[1件消去]

を選んで  (決定) を押す

2 で[はい]を選び、 (決定) を押す

スマートフォンと連携して使う

専用アプリケーションと無線ルーターを利用することにより、スマートフォン (iPhone や Android™ スマートフォンなど) で来客応答やモニターなどができます。

- 連携できるスマートフォンは最大4台まで。
- スマートフォンは、モニター親機と接続した無線ルーターの電波が届かない場所 (例: 外出先) では連携できません。



連携したスマートフォンでできること

主な機能は下記のとおりです。

- 来客の呼び出しに応答する
- ドアの外の様子を見る (モニター)
- メールでお知らせ機能の設定をする

対応のスマートフォンについて

2014年11月現在の情報です。

■ iPhone、iPad

iOS 7.0 以降 (iPhone 4S以降)

■ Android スマートフォン

Android 4.0 以降

動作確認済みの機種など、最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。(一部の機種では使えない機能などもあります)

<http://panasonic.jp/com/support/doormoni/smp/>

- 動作確認済みの無線ルーターも、上記サイトで確認できます。

スマートフォンと連携して使う(つづき)

連携するまでの流れ

- ① モニター親機で、無線ルーターとのWi-Fi接続設定をする(P.16)
- ② スマートフォンのWi-Fi機能をONにして、モニター親機と同じ無線ルーターに接続する(接続方法は、ご使用のスマートフォンや無線ルーターの説明書を参照)
- ③ 専用アプリケーションをダウンロードする(下記)
- ④ スマートフォンをモニター親機に登録する(右記)

専用アプリケーションをダウンロードする

専用アプリケーション「ドアモニ」(以降、「ドアモニアプリ」と表記)を、スマートフォンでダウンロードします。

- 下記のサポートサイトから、ダウンロードサイトに簡単に接続できます。ドアモニアプリの説明書も、このサイトからダウンロードしてお読みください。
<http://panasonic.jp/com/support/doormoni/smp/>
- アプリケーションのダウンロードには、通信料がかかります。ダウンロードに使う無線LANのインターネット利用料やスマートフォンの通信料をご確認ください。契約によっては、通信料が高額になる場合があります。



スマートフォンをモニター親機に登録する

スマートフォンの操作の詳細は、ドアモニアプリの説明書をお読みください。

スマートフォンの操作

- 1 ドアモニアプリを起動する
- 2 表示された「使用許諾契約」を読んで、[同意する]をタップする
 - 続けて、モニター親機で下記の操作をしてください。

モニター親機の操作

- 3  を押し、 で[各種設定]を選び、 (決定) を押す
- 4  で[登録/減設]を選び、 (決定) を押す
- 5  で[登録]を選び、 (決定) を押す
- 6  で[スマートフォン]を選び、 (決定) を押す
- 7  で登録するスマートフォンの番号を選び、 (決定) を押す
 - 続けて約2分以内に、スマートフォンで下記の操作をしてください。

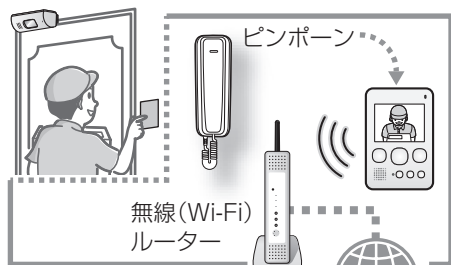
スマートフォンの操作

- 8 表示された画面を確認して、[登録]をタップする
- 登録が終わったら
モニター親機の  を押す

携帯電話などに来客時の画像をメールで送る (メールでお知らせ機能)

この機能を使うと、チャイムリンクで自動表示した来客時の画像(静止画で1枚)を、外出先の携帯電話などで確認できます。

- インターネットに接続した無線ルーターにモニター親機をWi-Fi接続する必要があります。



画像



スマートフォン・
携帯電話・パソコン
などへメールを送信

インターネット



在宅時にモニター親機で来客応答しても、メールが送信されます。在宅時のメール送信を止めるには、P.25「メール通知の設定」の操作をしてください。

お知らせ

- メールを受信側で迷惑メール対策をしていると、受信できないことがあります。送信元として設定するメールアドレスを受信できるように、受信側の設定を変更してください。
- ネットワーク環境の状態によっては、メールが送信できない場合があります。
- 本機と連携したスマートフォンでも「メールでお知らせ機能」の設定ができます。(詳細はドアモニアプリの説明書を参照)

ご利用までの流れ

- ① モニター親機で、無線ルーターとのWi-Fi接続設定をする(P.16)
- ② 設定に必要な送信元情報を準備する
 - インターネットサービスプロバイダーのメールサービスを使うときは、インターネットの契約書類などでご確認ください。(不明な場合は、プロバイダーへご確認ください)
 - 無料で取得できるフリーメールサービスを使うときは、サービス提供元のヘルプなどを参照ください。

設定に必要な情報

- ① 送信元メールアドレス
(プロバイダーやフリーメールサービスから取得した、あなたのメールアドレスです)
※携帯電話のメールアドレスは使えません。
- ② ご使用になる送信メールサーバー名
(一般的にはSMTPから始まる名前です)
- ③ メール送信に使うSMTPポート番号
- ④ セキュリティ(暗号化)設定の必要の有無と、暗号化の種類(TLS/SSL)
- ⑤ SMTP認証(※)設定の必要の有無と、必要な場合のアカウント名(ユーザー名)とパスワード
※メール送信のたびに送信者の認証を行い、サーバー側が認証できたときにメールを送信する方式です。

- ③ モニター親機と無線ルーター間の電波状態(Wi-Fiの信号強度)を確認する(P.31)
- ④ メールサーバーの登録、通知先メールアドレスの登録をする(P.24、25)

携帯電話などに来客時の画像をメールで送る (メールでお知らせ機能) (つづき)

メールサーバーの登録をする

送信元のメールサーバーの登録を行います。
事前に準備した送信元情報 (P.23の②) を
参照しながら操作してください。

- 設定の際、手順5で入力した送信元メールアドレスにテストメールが送信されます。
受信確認ができるパソコンなどを準備してください。

- 1  を押し、 で[各種設定]を選び、 ([決定]) を押す
- 2  で[ネットワークの設定]を選び、 ([決定]) を押す
- 3  で[メールでお知らせ設定]を選び、 ([決定]) を押す
 - 設定メニューが表示されます。
- 4  で[メールサーバー登録]を選び、 ([決定]) を押す

- 5 画面の表示に従って、下記の情報を入力・設定して登録する

送信元メールアドレス
P.23の④を入力します。
SMTPサーバー
P.23の⑤を入力します。
ポート番号
P.23の⑥を入力します。
セキュリティの種類
P.23の⑦の確認結果に応じてTLS/SSL/なしのいずれかを選びます。
SMTP認証
P.23の⑧の確認結果で認証が必要なときは、[する]を選択後、アカウント名(ユーザー名)とパスワードを入力します。

- 文字入力の画面では、文字を入力後、[次へ進む]を選んで決定します。(文字入力のしかたはP.30)

- 6 すべての情報を登録後、「メール送信のテストを行います」の表示が出たら、 で[はい]を選び、

 ([決定]) を押す

- 手順5で入力した送信元メールアドレスにテストメールが送信され、正常に送信すると「登録完了」と表示されます。
 - ・ 上記のメールアドレスにメールが届いたことを確認してください。
 - ・ その他の画面が出たときは、設定が完了していません。P.41 も参照のうえ、正しく設定し直してください。

通知先メールアドレスの登録をする

最大4つのメールアドレスを登録できます。

- 1 P.24「メールサーバーの登録をする」の手順1～3の操作をする
- 2  で[通知先メールアドレス]を選び、 (決定)を押す
- 3  で登録する通知先を選び、 (決定)を押す
- 4 メールアドレスを入力し、 で[次へ進む]を選んで  (決定)を押す
 - 文字入力のみ (P.30)
- 5 「メール送信のテストを行います」の表示が出たら、 で[はい]を選び、 (決定)を押す
- 6 「設定した通知先アドレスにメールが届いたことを確認してください」の表示が出たら、表示に従って確認後、 (次へ)を押す
 - その他の画面が出たときは、入力に誤りがあります。正しく入力し直してください。
- 7 「通知先アドレスを登録します」の表示が出たら、 で[はい]を選び、 (決定)を押す
 - 登録と同時に右記の「メール通知の設定」が自動的に「する」に変更されます。
 - 複数のメールアドレスを登録するときは、手順3～7を繰り返し行います。
- 8 終わったら、 を押す

メール通知する/しないを設定する(メール通知の設定)

メールサーバーと通知先メールアドレスの登録が終わると、この設定は自動的に「する」に変わります。在宅時にもメールが届きますので、外出時だけメール通知を受けたいときなどは、下記の操作で設定を変更してください。

在宅時など、メール通知を止めたいとき

- 1  を押し、 で[メールでお知らせ]を選び、 (決定)を押す
 - 「メール通知」の設定画面が表示されます。
- 2  で[しない]を選び、 (決定)を押す
- 3 終わったら、 を押す

外出時など、メール通知を受けたいとき

上記と同様の操作で、[メールでお知らせ]を[する]に変更してください。

お知らせ

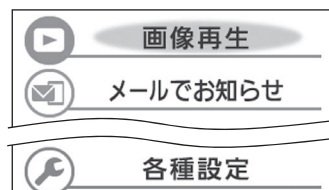
- メール通知の設定は、登録したすべての通知先メールアドレスに対して適用されます。(通知先メールアドレスごとの設定はできません)

設定一覧と設定の変えかた

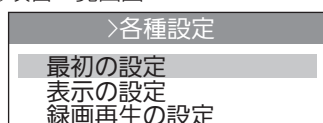
待機中に、各種設定を変更できます。

- 1 ^{メニュー}
を押す
- 2 トップメニュー(①)で、[各種設定]を
選ぶ(で選び  (決定))
- 3 項目一覧画面(②)で、設定する項目名を
選ぶ(で選び  (決定))
- 4 機能一覧画面(③)で、設定する機能名を
選ぶ(で選び  (決定))
 - 機能によっては、サブメニュー(④)が表示されます。
- 5 設定内容を選ぶ
(で選び  (決定))
 - 機能によってはこの操作を繰り返し行い、設定完了後に  を押してください。
 - 機能によっては設定確認のメッセージが表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

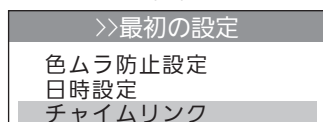
① トップメニュー



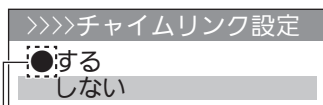
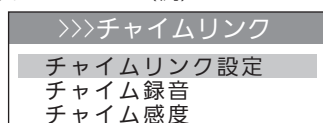
② 項目一覧画面



③ 機能一覧画面(例)



④ サブメニュー(例)



「●」が現在の設定

■ 項目名 [最初の設定] の機能一覧

機能名/サブメニュー		設定内容など	初期値
色ムラ防止設定		東日本 (50 Hz)、西日本 (60 Hz) ● 色ムラ防止のため、お使いの地域に合った周波数を選んでください。	東日本 (50 Hz)
日時設定		● 日時の変更ができます。 日時の設定画面が出たら、P.12「日時(時計)を設定する」の手順2～3を行ってください。	2014年 11月1日 0時00分
チャイム リンク	チャイム リンク 設定	する、しない ● チャイムリンク機能を利用するかしないかの設定です。チャイム音を登録するまで設定変更はできません。(チャイム音登録時、自動的に「する」に変更されます)	しない
	チャイム 録音	● ご自宅のチャイム音を録音・登録します。画面の表示やドアカメラの音声案内に従って録音操作をしてください。	—
	チャイム 感度	高い、やや高い、標準、やや低い、低い ● チャイム音を検知するときの感度を設定します。検知しにくいときはより高い設定に、検知しすぎるときはより低い設定を選びます。	標準

■ 項目名 [表示の設定] の機能一覧

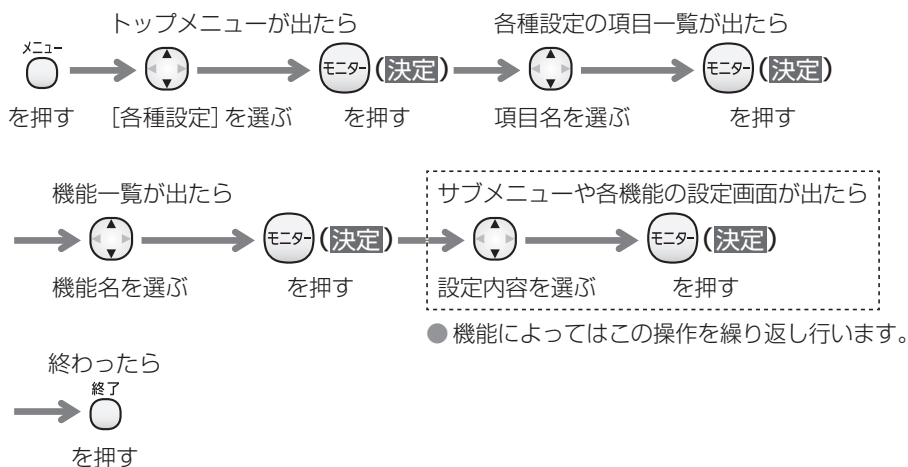
機能名/サブメニュー		設定内容など	初期値
初期表示設定		標準、ズーム ● 来客時やモニター時に表示する最初の映像を、標準またはズーム(標準の約1.6倍)のどちらにするかを選びます。	標準
コントラスト		● 映像(背景と被写体)の明暗差が大きいときなど、必要に応じて5段階で調整できます。	レベル3 (標準)

■ 項目名 [録画再生の設定] の機能一覧

機能名/サブメニュー		設定内容など	初期値
自動録画		する、しない ● 自動録画をするかしないかを選びます。 機能の詳細は(P.20)	する
画像全消去		すべての画像を消去、保護画像を残して消去	—
新着ランプ点滅		する、しない ● 新しく録画した未確認画像があっても、ランプが点滅しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する

設定一覧と設定の変えかた(つづき)

設定のしかた(詳しくはP.26)



■ 項目名[ネットワークの設定]の機能一覧

機能名/サブメニュー			設定内容など	初期値
現在のステータス	Wi-Fi 情報		● Wi-Fiの通信状態、ネットワーク名(接続中の無線ルーターのSSID)、MACアドレス*を表示します。 ※「MACアドレス クライアント」はモニター親機、「MACアドレス AP」は接続している無線ルーターのMACアドレスを表します。	—
	IP 設定情報		● IPアドレスなどを表示します。	—
	メール設定情報		● P.24、25で設定した送信元のメールサーバーの情報や通知先メールアドレスの情報を表示します。	—
Wi-Fi 接続設定	簡単接続 WPS		● スマートフォンとの連携や、メールでお知らせ機能を使うために必要な設定です。 ご使用の無線ルーターに合った接続方法を選んで設定します。(詳細はP.16)	—
	手動接続	サーチして選択		
		SSIDとセキュリティキー入力		
IP の設定			自動(DHCP)、手動(Static) ● IPアドレスを固定にして使うときは「手動(Static)」を選び、詳細情報を入力・設定します。 (文字入力のしかたはP.30)	自動(DHCP)

■ 項目名[ネットワークの設定]の機能一覧(つづき)

機能名/サブメニュー		設定内容など	初期値
メールでお知らせ設定	メール通知	する、しない ● 登録した通知先メールアドレスにメール通知をするかしないかの設定です。下記の「メールサーバー登録」「通知先メールアドレス」の設定をすると、自動的に「する」に変更されます。(それまでは設定変更できません)	しない
	メールサーバー登録(メールサーバー修正)	● 送信元のメールサーバーを登録/修正します。(詳細はP.24)	—
	メールサーバー消去	● 送信元のメールサーバー情報を消去します。	—
	通知先メールアドレス	● メールの通知先(1～4)を登録します。(詳細はP.25)	—
ネットワークの初期化		● ネットワークの設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—

■ 項目名[登録/減設]の機能一覧

機能名/サブメニュー		設定内容など	初期値
登録	スマートフォン	● スマートフォンを登録します。(詳細はP.22)	—
	中継アンテナ	● 中継アンテナを登録します。(詳細はP.32)	
減設	スマートフォン	● スマートフォンや中継アンテナを減設します。(詳細はP.33)	—
	中継アンテナ		

■ 項目名[その他の設定]の機能一覧

機能名/サブメニュー		設定内容など	初期値
カメラ電池セーブ		標準、セーブ ● ドアカメラの電池を長持ちさせたいときは「セーブ」を選びます。('標準')に比べて、モニター時の映像表示までの時間が長くなることがあります)	標準
初期化		設定を元に戻す、出荷時に戻す ● 「設定を元に戻す」を選ぶと、次の情報は初期化されません。 ・ チャイムリンクやネットワークの設定 ・ 録画した画像や接続機器の登録情報 ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選んでください。	—

文字入力のかた

メールサーバーの登録(P.24)などを行うときに文字入力が必要です。

ここでは、操作途中に表示される文字入力画面の操作方法を説明します。

●画面の表示は場面によって異なります。

1 文字入力画面が表示されたら、右記を参照のうえ、文字を入力する

①  を押し、文字の種類を切り替える
●押すごとに、文字キー(右記⑧)の表示が切り替わります。

②ソフトキーボードから、入力したい文字を選ぶ

( で選び  (決定))

③上記①②を繰り返して文字入力を完了させる

■文字を挿入するには

1. ソフトキーボードの[←][→]で入力エリアのカーソルを挿入位置の次の文字に移動する
2. 文字を入力する

■文字を修正するには

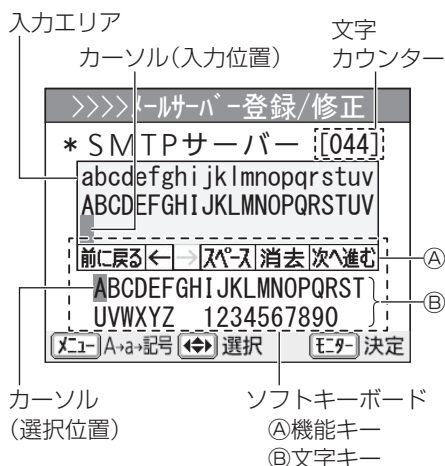
1. ソフトキーボードの[←][→]で入力エリアのカーソルを修正する文字に移動する
2. ソフトキーボードの[消去]で文字を消す
3. 文字を入力する

2 内容に誤りがないことを確認し、

 でソフトキーボード内の[次へ進む]を選んで  (決定) を押す

●入力内容が確定されて、画面が切り替わります。

文字入力画面の見かた



■ソフトキーボードについて

各キーは、 で選んで  (決定) を押して操作します。

〈機能キー〉

各キーのはたらき	
	前の画面に戻る
	入力エリア内のカーソル(入力位置)を移動する
	スペースを入力する
	入力エリア内のカーソル位置にある1文字を消去する ・操作の際に  (決定) を約2秒間押すと、カーソル以降の文字をすべて消去できます。
	入力エリア内の入力内容を確定して次の画面に進む

〈文字キー〉

表示する文字の種類は、 を押すごとに切り替わります。

(「英大文字&数字」→「英小文字&数字」
→「記号&数字」)

電池残量やアンテナレベル (電波の状態)を確認する

ドアカメラの電池残量、モニター親機とドアカメラ(または無線ルーター)間の電波状態を確認できます。

- 1 を押し、 で[アンテナ・電池]を選び、 (決定)を押す

●現在の状態が表示されます。

- 2 表示を確認して適切な処置をする

- 画面の見かたと処置方法(右記)
- 電池切れで電池交換をした場合など、状態を改善したあとで (更新) を押し、情報を更新して最新の状態を表示します。

- 3 終わったら、 を押す

お知らせ

- 市販の充電式ニッケル水素電池をお使いになる場合
 - ・アルカリ乾電池と比べて電池残量表示がすぐに減ることがあります。(故障ではありません)
 - ・使っていないときも自然放電によって残量が減っていきます。できるだけ使用する直前に充電してください。
 - ・新品の電池でも、上記の放電状態によっては、取り付け直後に (残量レベル2) の表示になることがあります。

画面の見かたと処置方法



①モニター親機とドアカメラ間の電波状態



この範囲でご使用ください。

- 電波が弱いまたは圏外のときは、電波の強い場所へモニター親機を移動してください。

②ドアカメラの電池残量



この範囲でご使用ください。

- 電池切れのときは、電池を交換してください。(P.33)
- ドアカメラとの間の電波が圏外の場合、 の表示になります。

③モニター親機と無線ルーター間の電波状態

P.16「Wi-Fi接続設定」後に表示されます。



この範囲でご使用ください。

- 電波が弱いまたは圏外のときは、電波の強い場所へモニター親機や無線ルーターを移動してください。

④情報表示エリア

現在の状態に応じた情報(改善が必要な場合の処置方法など)を表示します。

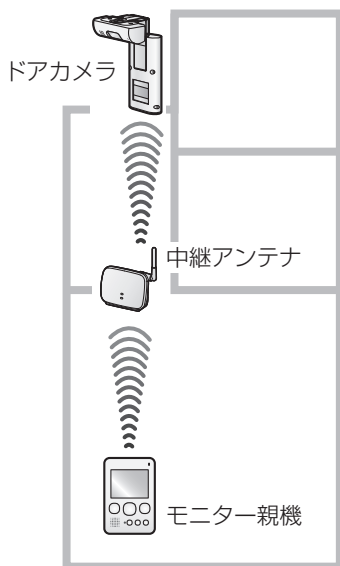
中継アンテナを使用する

ドアカメラとモニター親機が離れていたり、壁などの障害物があって、下記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナ「KX-FKD2」を設置すると改善できることがあります。

- ・モニター親機での通話が途切れたり、映像が乱れるとき
- ・ (圏外) で使えないとき

- 設置は1台のみ。
- 本機で使用できる中継アンテナはDECT準拠方式(1.9 GHz帯)のため、無線LANには対応していません。
- 中継アンテナの取扱説明書もよくお読みください。

設置例と電波の中継イメージ



中継アンテナをモニター親機に登録する

モニター親機の操作

- 1  を押し、 で[各種設定]を選び、 (決定) を押す
- 2  で[登録/減設]を選び、 (決定) を押す
- 3  で[登録]を選び、 (決定) を押す
- 4  で[中継アンテナ]を選び、 (決定) を押す

- 続けて約2分以内に、中継アンテナで下記の操作をしてください。

中継アンテナの操作

- 5 電源を入れ、登録ボタンを約3秒間押す
 - 電波レベル/登録ランプが緑点滅し、登録が完了すると点灯します。

- 登録が終わったら
モニター親機の  を押す

電池を交換する

ドアカメラの電池が切れたときは、新しい単3形アルカリ乾電池、または市販の単3形充電池ニッケル水素電池と交換してください。

- 電池を入れる手順は(P.12)

■ 交換するとき

ドアカメラ本体の落下防止のため、必ずドアを閉め、電源をOFFにしてから、お取り替えください。

■ 古いニッケル水素電池はリサイクルに…

- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になったニッケル水素電池、および使用済製品から取り外したニッケル水素電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
 - ・製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
 - ・一般社団法人JBRCおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

一般社団法人JBRCのホームページ
<http://www.jbrc.com>

- リサイクル時のお願い
 - ・ニッケル水素電池はショートしないようにしてください。発煙・発火の原因になります。
 - ・外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
 - ・ニッケル水素電池を分解しないでください。



■ 使用済みの乾電池を捨てるとき

- 「燃えないゴミ」として、地域条例に従って処理してください。
- 端子を絶縁するためにテープを貼ってください。(ショートによる液もれ・発熱・破裂の防止)

使わなくなった機器を減設する

スマートフォンや中継アンテナを使わなくなったときは、モニター親機で下記の減設操作をしてください。

- 1 を押し、 で[各種設定]を選び、 (決定) を押す

- 2 で[登録/減設]を選び、 (決定) を押す

- 3 で[減設]を選び、 (決定) を押す

- 4 で減設したい機器を選び、 (決定) を押す

- スマートフォンを選んだとき
続けて で減設する機器番号を選び、 (決定) を押す

- 5 確認画面が出たら、 で[はい]を選び、 (決定) を押す

- 6 終わったら、 を押す

お願い

- スマートフォンを減設したときは、スマートフォンからドアモニアプリを削除してください。

仕 様

ワイヤレスドアカメラ

電 源	単3形アルカリ乾電池4本 (または市販の単3形充電式 ニッケル水素電池4本)
電池寿命	約6か月※1
外形寸法 (mm)(高さ ×幅×奥行) (突起部除く)	無線ユニット: 約140×78×27 カメラユニット: 約35×103×42
質 量	約330 g(乾電池含む)
使用環境 条件	無線ユニット(室内) 周囲温度:0℃～+40℃ 湿度:90%以下 カメラユニット(室外) 周囲温度:-10℃～+50℃ 湿度:90%以下
最大画角	水平:約91° 垂直:約69°
取付方法	ドア挟み込み
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
使用可能 距離	約70 m (モニター親機との見通し距離)
最低被写体 照度	3ルクス以上
防水性	カメラユニットのみIPX3※2相当

※1 下記の条件で使用情况の場合の目安です。

- ・パナソニック製の以下の新品電池を使用
-単3形アルカリ乾電池(使用推奨期限内)
-単3形充電式エボルタハイエンドモデル
(満充電時)
-単3形エネルーブハイエンドモデル
(満充電時)
- ・P.29「カメラ電池セーブ」を「標準」に設定
- ・室温20℃で1日5回、1回につき約
20秒間映像を表示

※2 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧
した水によっても有害な影響を及ぼさ
ないレベル

モニター親機

電 源	AC 100 V(50 Hz/60 Hz)
消費電力	待機時:約2 W 動作時:約4 W
外形寸法 (mm)(高さ ×幅×奥行) (突起部除く)	本体: 約16.5×80×120 置き台使用時: (たて置き) 約120×80×123 (ねかせ置き) 約66×80×123
質 量	約200 g 約240 g(置き台含む)
使用環境 条件	周囲温度:+5℃～+40℃ 湿度:90%以下
画面表示	約2.8型 カラー液晶ディスプレイ
通話方式	音声交互自動切替方式
無線通信 方式	ドアカメラとの間: 1.9 GHz TDMA-WB 無線ルーターとの間: 無線LAN(詳細は下記)
無線LAN	規格: IEEE802.11b/g/n準拠 伝送方式: OFDM方式、DSSS方式 周波数範囲: 2.4 GHz～2.5 GHz チャンネル:1～13ch データ転送速度(最大): IEEE802.11b:11 Mbps IEEE802.11g:54 Mbps IEEE802.11n:72 Mbps アクセス方式: インフラストラクチャーモード セキュリティ: WPA/WPA2 (暗号化方式:TKIP/ AES、認証方式:PSK) WEP(64 bit/128 bit)

別売品

価格やご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 記載情報は2014年11月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

中継アンテナ KX-FKD2

中継アンテナは、販売店またはパナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけます。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

困ったとき

映像表示や録画画像について

映像がゆがんで見える

カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがあります。
(故障ではありません)

人の顔が暗く映る

ドアカメラを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。
→ 明るさを調整してください。(P.19)

チャイムリンクやモニター操作で、画面に表示した直後の映像が粗い、色味が実際と異なる

ドアカメラは、周囲の明るさによって映像補正を行います。画面に表示した直後の映像は補正がされず、画質が粗くなったり、色味が実際と異なる場合があります。

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

- ドアカメラのレンズカバーが汚れていませんか？
→ 柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ドアカメラのレンズカバーが結露していませんか？
→ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。

映像全体が白っぽい、または黒っぽい

明るさの設定は適切ですか？
→ 明るさを調整してください。(P.19)

映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される

カメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。
(故障ではありません)
→ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。

困ったとき(つづき)

映像表示や録画画像について(つづき)

画面に色ムラが発生する

「色ムラ防止設定」が、お使いの地域(東日本/西日本)に合わせて正しく設定されていますか？

正しく設定しないと、蛍光灯など交流電灯の照明によって、しま模様になることがあります。(フリッカー現象)



→ 地域に合わせて正しく設定すると改善できます。転居などで地域が変わったときは、設定を変更してください。(P.27)

映像が乱れる、または映像の更新が遅い(約5秒以上かかる)

ドアカメラとモニター親機が離れすぎている、または機器の間にコンクリート壁などの障害物はありませんか？

→ ドアカメラの近く、または障害物のない場所にモニター親機を移動させてください。移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。(P.32)

録画再生で録画日時が表示されない

日時が設定されていません。または、停電などにより、設定した日時が消えています。

→ 日時を設定してください。(P.12)

チャイムリンク機能について

チャイム音を録音(登録)できない

次のようなことが考えられます。

- ・「ピンポン」「ピンポンピンポン」以外の音を録音しようとしている
→ 「ピンポン」「ピンポンピンポン」以外の音は録音できません。インターホンやチャイムをご使用のときは、ご使用の機器の説明書を参照のうえ、チャイム音を変更してください。
- ・チャイムやインターホンからモニター親機が離れすぎている、または近すぎる
→ モニター親機は、チャイム音が鳴る機器と同じ部屋※に設置してください。
※チャイム音が鳴る機器との距離の目安：1～4 m
ただし、チャイムの音量やモニター親機の設置場所周辺の騒音、部屋(壁などの仕切り)のレイアウトによって変わります。
- ・周囲が騒がしい中で録音した
→ テレビやラジオなどは音を消し、静かな環境で録音してください。
- ・チャイムの押しかがたが適切でなかった(連続押しや短押しなど)
→ 「ピンポン」「ピンポンピンポン」以外の音は録音できません。
- ・録音操作に誤りがある
→ モニター親機の表示やドアカメラの音声案内に従って、操作してください。

玄関のチャイム音が鳴っていないのに、映像が表示される(音を誤検知する)

- 次の音を誤って検知することがあります。
 - ・テレビの音
→ モニター親機をテレビから離れた場所に置くか、テレビの音量を下げてください。それでも誤検知するときは、P.27「チャイム感度」の設定をより低い設定に変更してください。
 - ・隣の家のチャイム音、人の話し声
→ P.27「チャイム感度」の設定をより低い設定に変更してください。
- 上記の処置をしても誤検知するとき
→ 録音をやり直し、様子を見てください。

玄関のチャイム音が鳴ったのに、映像が表示・録画されない(音を検知しない)

- 次のようなことが考えられます。
 - ・ モニター親機でほかの操作をしていた
→ 操作中は、チャイムリンクによる映像の自動表示はされません。
 - ・ 周囲が騒がしい
→ 騒がしいときは音を検知できないことがあります。(故障ではありません)
 - ・ 電池式チャイムで電池が消耗し、チャイム音が変化している
→ 新しい電池に交換してください。
 - ・ チャイムやインターホンからモニター親機が離れすぎている、または近すぎる
→ モニター親機は、チャイム音が鳴る機器と同じ部屋※に設置してください。
※ チャイム音が鳴る機器との距離の目安：1～4 m
ただし、チャイムの音量やモニター親機の設置場所周辺の騒音、部屋(壁などの仕切り)のレイアウトによって変わります。
→ P.27「チャイム感度」の設定を変更してください。
 - ・ チャイムの押しかたが適切でなかった(連続押しや短押しなど)
→ 音の鳴りかたが録音時と異なると、検知できません。(故障ではありません)
 - ・ ドアカメラが圏外になっている
→ 電波状態を確認し、モニター親機をドアカメラに近づけてください。
 - ・ 検知できない音(P.14)を録音して使っている
→ 「ピンポン」「ピンポンピンポン」以外の音は、録音(登録)ができたとしても正しく検知できません。
チャイム音を変更して、録音をやり直してください。(P.15)
 - ・ モニター親機の周囲温度が使用環境条件(+5℃～+40℃)の範囲外になっている
→ 上記の範囲外ではチャイム音を正しく検知できないことがあります。

※上記のいずれの処置をしても音を検知しないときは、録音をやり直し、様子を見てください。

スマートフォンとの連携

- ・ モニター親機にスマートフォンが登録できない
- ・ 登録後、モニター親機と連携できない
- 次のような理由で無線LANに接続できていません。
 - ・ モニター親機やスマートフォンで、Wi-Fiの接続設定がされていない
→ それぞれで設定が必要です。
モニター親機は、P.16「Wi-Fi接続設定」をしてください。
スマートフォンは、Wi-Fi機能をONにし、モニター親機と同じ無線ルーターに接続してください。(接続方法は、スマートフォンや無線ルーターの説明書を参照)
 - ・ モニター親機やスマートフォンが無線ルーターの圏外になっている
→ 無線ルーターの電源を確認し、無線ルーターの電波の届く範囲内でご使用ください。(外出時など、無線ルーターの圏外では使えません)
 - ・ モニター親機とスマートフォンが、同じ無線ルーターに接続されていない
→ 同じ無線ルーターに接続(設定)してください。
- 上記の処置をしても無線LANに接続できないとき
→ P.29「ネットワークの初期化」をしてから、P.16「Wi-Fi接続設定」をやり直してください。

連携はできているが、ドアモニアプリの動作がおかしい

ドアモニアプリの説明書の「困ったとき」などをお読みください。

困ったとき(つづき)

メールでお知らせ機能について

テストメールが届かない

メールサーバーや通知先メールアドレスの設定が間違っていないですか？

→ P.28「メール設定情報」で設定内容を確認し、間違っていたら再度設定をやり直してください。

テストメールは届いたのに、来客時の通知メールが届かない

次のようなことが考えられます。

- 無線ルーターの電源が入っていない、またはモニター親機が無線ルーターの圏外になっている
→ 無線ルーターの電源を確認し、モニター親機を無線ルーターの電波が届く場所に設置し直してください。
- メール通知しない設定になっている
→ P.25「メール通知の設定」で、メール通知をする設定に変更してください。
- メールサーバーなどのネットワーク環境の状態に問題がある
→ メールサーバー設定で入力した送信元メールアドレスにリターンメールがきていないか、パソコンなどで確認してください。

メール通知を止めたい(在宅時など、一時的にメールが来ないようにしたい)

P.25「メール通知の設定」で、メール通知をしない設定に変更してください。

その他

ドアカメラの電池切れが早い

- ドアカメラがモニター親機の圏外になっていませんか？
→ 圏外となっている場合、ドアカメラがモニター親機を探す動作を繰り返す、電池の消耗が早くなります。圏内になるようにモニター親機を移動させてください。
- モニター親機の電源が切れていると圏外となり、ドアカメラがモニター親機を探す動作を繰り返すため、電池の消耗が早くなります。長期の外出など、モニター親機の電源を切る(電源プラグを抜く)場合は、ドアカメラの電源用スライドスイッチもOFFにしてください。
- 指定外の電池や電池容量の低い充電式ニッケル水素電池を使用していませんか？
→ マンガン電池や容量の低いニッケル水素電池は、使用時間が短くなります。(故障ではありません)

正しく操作しても動かない 動作がおかしい

直らないときは次の操作をしてください。

1. ドアカメラの電池を交換する
2. モニター親機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒待ってから電源を入れ直す

CSデジタル放送(特定チャンネル)の 画像が乱れる

本機^{※1}の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると画像が乱れることがあります。

→ 下記のように、CS・BS対応の受信設備をお使いください。

- 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS・BS対応のものを使う
- 接続ケーブルは「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS・BS対応のものを使う
- 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ(CS・BS専用ケーブルに対応)を使う

無線LAN経由で、パソコンやスマートフォンなどがインターネットに接続できない(または接続が不安定)

本機^{※1}と無線LANの無線ルーターの設置位置が近いと電波がお互いの機器に影響し、接続できないことがあります。本機と無線ルーターは約3 m以上離して設置することをお勧めします。

※1 無線通信に1.9 GHz帯を使用している中継アンテナなどの別売品も含みます。

こんな表示が出たら

モニター親機の画面に表示されるコード番号(U●●)から検索できます。

U1● (ドアカメラとの通信関連)

表示	原因と対応
U14	次のようなことが考えられます。 • 「ピンポーン」「ピンポンピンポン」以外の音を録音しようとしている → 「ピンポーン」「ピンポンピンポン」以外の音は録音できません。インターホンやチャイムをご使用のときは、ご使用の機器の説明書を参照のうえ、チャイム音を変更してください。 • 周囲が騒がしい中で録音した → テレビやラジオなどは音を消し、静かな環境で録音してください。 • チャイムの押しかたが適切でなかった(連続押しや短押しなど) → 「ピンポーン」「ピンポンピンポン」以外の音は録音できません。
U17	モニター親機がチャイム音の音源(チャイムやインターホン)に近すぎて、チャイム音を正しく検知できませんでした。 → モニター親機を音源から離す(1 m～4 mの範囲でできるだけ離してください)
U18	ドアカメラとの通信が途切れたため、チャイム音を録音できませんでした。 → モニター親機とドアカメラ間の電波状態を確認し、録音をやり直してください。(P.31、15)

こんな表示が出たら (つづき)

U3● (ドアカメラ登録・接続)

表示	原因と対応
U31	モニター親機にドアカメラを再登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ ドアカメラの電源を確認し、モニター親機に近づけて登録操作をやり直してください。(下記)
U35	修理交換後のドアカメラで、モニター親機への登録が必要です。 〈ドアカメラの登録のしかた〉 モニター親機の操作： 1. 、 (上)、 を同時に押す 2. 「登録を開始します…」と表示されたら、 を押す ● 続けて約2分以内にドアカメラで次の操作を行います。 ドアカメラの操作： 3. 電池を入れる (P.12) 4. 登録ボタンを先端の細いもので押しながら電源をONにする (登録ランプが点滅を始めるまでボタンを離さないでください) ● 登録ランプが速く点滅します。 ■ 登録完了の場合 登録ランプが速点滅→約10秒間点灯→消灯します。 ■ 登録失敗の場合 登録ランプが速点滅→消灯します。(再度、登録操作をやり直してください)

U4● (中継アンテナ)

表示	原因と対応
U41	モニター親機に中継アンテナを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ 中継アンテナの電源を確認し、モニター親機に近づけて登録操作をやり直してください。(P.32)

U1●●（ネットワーク設定）	
表示	原因と対応
U103	モニター親機と同じIPアドレスが、ほかのネットワーク機器にも使われています。 ➔ P.28「現在のステータス」の「IP設定情報」でモニター親機のIPアドレスを確認してください。IPアドレス確認後は、ほかのネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように、再設定してください。
U111	無線ルーターは電源が入っていて、正しく動作していますか？ ➔ 無線ルーターの電源を確認してください。
U117 U118	次のような理由で、Wi-Fi接続設定ができませんでした。(P.16) - 無線ルーターやネットワーク環境に問題がある ➔ 無線ルーターの近くで設定をやり直してください。 - 指定時間内に無線ルーターの操作が完了しなかった ➔ 指定時間内に操作を完了させてください。
U154	次のことが考えられます。 - メールサーバーの設定内容に誤りがある ➔ 正しく設定し直してください。 - 無線ルーターがネットワークに正しく接続されていない ➔ 正しく接続してください。
U155	無線ルーターがネットワークに正しく接続されていません。 ➔ 正しく接続してください。

U1●●（ネットワーク設定）	
表示	原因と対応
U156	メールサーバー未登録時は、通知先メールアドレスが登録できません。 ➔ 先にメールサーバーの登録をしてください。(P.24)
U157	次のことが考えられます。 - セキュリティの種類の設定 (TLS/SSL/なし) に誤りがある - SMTP認証の設定が必要なのに、設定がされていない ➔ 正しく設定し直してください。(P.24)
U158	SMTP認証のアカウント名やパスワードに誤りがあります。 ➔ 正しく設定し直してください。(P.24)

U2●●（スマートフォン連携）	
表示	原因と対応
U201	モニター親機にスマートフォンを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 ➔ スマートフォンをWi-Fi接続する無線ルーターの電源や、モニター親機と無線ルーター間の接続を確認し、スマートフォンにWi-Fiの電波が届く範囲内で登録操作をやり直してください。(P.22)

商標・著作権について

商標について

- モニター親機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- “Wi-Fi”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad はApple Inc. の商標です。
- Android は、Google Inc. の商標です。
- Bluetooth® ワードマークは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社によるこれらのマークの使用は許可を受けています。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

著作権について

この製品には、フリーソフトウェア財団の GPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。本製品に表示される GPL や LGPL のライセンス情報、オープンソースソフトウェアについての情報は、ホームページへ掲載しています。GPL、LGPL の条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。製品販売後、少なくとも3年間、パナソニックシステムネットワークス株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、下記 URL をご参照ください。

<http://panasonic.jp/com/support/doormoni/>

保証とアフターサービス

よくお読みください

ご相談の前に

- ① P.35～41 の「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
- ② P.43 のパナソニック 総合お客様サポートサイトの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」なども活用ください。

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレスドアモニター
品 番	VL-SDM310
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って
お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書(本書の裏表紙に印刷)を添えてご持参ください。
(P.43「修理時にご持参いただく機器」)

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

【持込修理対象商品】

ただし、付属の乾電池は消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

お 願 い

- 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

修理時にご持参いただく機器



ドア
カメラ



モニター
親機



〈登録してご利用時〉

中継アンテナ
(ACアダプター含む)

- 上記のすべてをご持参いただけない場合、修理・返却後にお客様自身で登録操作が必要になる場合があります。
- 修理を依頼する前に、P.8「個人情報について」を必ずお読みください。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、このワイヤレスドアモニターの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル パナは 365日
0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「230 井」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

- 上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
- FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

- 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル パナは イイヨ
0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

保証とアフターサービス(つづき) よくお読みください

■ 各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区		近畿地区	
札幌 ☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	滋賀 ☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
旭川 ☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166	京都 ☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
帯広 ☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3	大阪 ☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
函館 ☎(0138)48-6630	函館市西栲栳町589-241	奈良 ☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
東北地区		和歌山 ☎(073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
青森 ☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1	兵庫 ☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
秋田 ☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1	中国地区	
岩手 ☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43	鳥取 ☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
宮城 ☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18	松江 ☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
山形 ☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75	出雲 ☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
福島 ☎(024)991-9308	郡山市備前館2丁目5	浜田 ☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
首都圏地区		岡山 ☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
栃木 ☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	広島 ☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
群馬 ☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1	山口 ☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
茨城 ☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3	四国地区	
埼玉 ☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番	香川 ☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
千葉 ☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5	徳島 ☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
東京 ☎(03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16	高知 ☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
山梨 ☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1	愛媛 ☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
神奈川 ☎(045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4	九州地区	
新潟 ☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14	福岡 ☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
中部地区		佐賀 ☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
石川 ☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地	長崎 ☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
富山 ☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4	大分 ☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
福井 ☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14	宮崎 ☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
長野 ☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11	熊本 ☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
静岡 ☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24	鹿児島 ☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
愛知 ☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	沖縄地区	
岐阜 ☎(058)278-6720	岐阜市中鶯4丁目42	沖縄 ☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11
三重 ☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421		

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

さくいん

アルファベット

IPアドレス	28
IP設定情報	28
IPの設定	28
SMTPサーバー	24
SMTP認証	24
SMTPポート番号	23
SSL (暗号化の種類)	23, 24
TLS (暗号化の種類)	23, 24
Wi-Fi (無線LAN)	6, 16
Wi-Fi接続設定	16
●簡単接続 WPS	16
●手動接続	16
Wi-Fi情報	28
WPSボタン/ランプ (無線ルーター)	16

あ 行

明るさ設定	19
アンテナレベル	31
色ムラ防止設定	27
液晶ディスプレイ	10
置き台	3, 11
お手入れ	9
音量(受話/送話)	19

か 行

カーソル	30
各種設定(一覧と 設定の変えかた)	26
画像	
●録画(自動/手動)	20
●再生	20
●保護/保護解除	21
●消去	21
画像全消去	27
カメラ電池セーブ	29
カメラユニット	10
カメラレンズ	10
ケーブル保護シート	10
現在のステータス	28
減設	33
コントラスト	27

さ 行

再生(画像)	20
自動録画	20
修理ご相談窓口	43, 44
手動録画	20
受話音量	19
仕様	34
消去(画像)	
●1件消去	21
●全消去	27
初期化	29
初期表示設定	27
新着ランプ	10
●ランプの点滅設定	27
ズーム表示	19
スピーカー	10
スパーサー	3, 13
スマートフォンとの連携	21
スライドレバー	10, 12
製造番号	10
操作ガイド	11
送信元メールアドレス	23, 24
増設→「登録」を参照	
送話音量	19

た 行

チャイムリンク(音検知)機能	14, 18
●チャイムリンク設定	27
●チャイム録音	15, 27
●チャイム感度	27
中継アンテナ	32, 35
通知先メールアドレス	25, 29
電源部	10
電源用スライドスイッチ	10, 13
電池(入れる/交換)	12, 33
電池ケース	10, 12
電池残量表示	31
電波状態表示 (アンテナレベル)	31
登録(増設)	
●スマートフォン	22
●中継アンテナ	32
●ドアカメラ	40

登録ボタン/ランプ	10, 40
時計	12
トップメニュー	11

な 行

日時設定	12, 27
ネットワークの初期化	29

は 行

パン・チルト	19
プレストーク通話	18
別売品	35
ポート番号	23, 24
保護/保護解除	21
保証とアフターサービス	42
補助用両面テープ	3, 13

ま 行

マイク	10
無線LAN(電波や 通信について)	7, 8
無線(Wi-Fi)ルーター	6, 21, 23
無線ユニット	10
メール設定情報	28
メールでお知らせ機能	23
●メール通知	25, 29
●メールサーバー 登録/修正	24, 29
●メールサーバー消去	29
●通知先 メールアドレス	25, 29
文字入力	30
モニター(様子を見る)	18

ら 行

録画→「画像」を参照	
六角レンチ	3, 13

- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC <http://club.panasonic.jp/>

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

携帯



愛情点検

長年ご使用のワイヤレスドアモニターの点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコードが熱を持っている。
- 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、
電源プラグを抜
いて、必ず販売店
に点検をご相談
ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2014

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご添付がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ワイヤレスドアモニター保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	VL-SDM310
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間 (但し乾電池は除く)
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 お名前 電 話 ()
※ 販売店	住所・販売店名 電 話 ()

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒 812-8531 福岡市博多区美野島四丁目 1 番 62 号 TEL (092) 477-1800

ご販売店様へ ※ 印欄は必ず記入してお渡しください。